

R. I. District2610, ROTARY CLUB OB UOZU

## 魚津ロータリークラブ会報誌

2011-2012年度 RI会長 カルヤン・バネルジー  
2011-2012年度 魚津RC会長 寺崎 明博



2012-3-02

### 第2815回 例会報告

- (1) 点鐘
- (2) 国歌 君が代斉唱
- (3) ロータリーソング 「奉仕の理想」
- (4) 四つのテスト 唱和
- (5) ゲスト並びにビジターの紹介  
・国際ロータリー 2610地区 炭谷亮一ガバナー
- (6) 誕生日祝い



3月6日 大島重隆夫人

皆さん、こんにちは！家内のひろみの誕生日を祝って頂きありがとうございます。昭和28年3月6日生まれです。先の皇后陛下と一緒にいます。家では崇め、大切にしています。私も介護者被保険者証を頂く年になりました。ロータリーに元気な人が沢山おいでなので見習って生きたいと思います。家内は「私の死の直前に死んでくださいそれが私に対する孝行です。私が一人で生きていくのが寂しいです。」と言います。ありがたく思っているのですね～。私も女房に長生きをしてもらいたいと思っています。「楽しくやろうよ」と二人で言っています。宜しくお願いします。

- (7) 会長挨拶 寺崎明博会長



皆さん、こんにちは！ガバナーの炭谷様、今日は大変お忙しいところ時間を割いて頂きましてありがとうございました。また大島さんの奥さん誕生日おめでとうございます。仲良く、結構なことです。さて、3月は識字向上月間です。来月はロータリー雑誌月間です。私は大城年度より月間が始まったのではないかと考えています。識字率向上月間は世界の字の読めない少年達にロータリーが手助けをすることです。

今日は炭谷ガバナーさんに説明をお願い致しましたところ快く引き受けて頂きました。ありがとうございました。皆さん今日はじっくり聞いて欲しいと思います。

- (8) 幹事報告

- ・河北みなみロータリークラブより週報が来ています。
- ・大相撲魚津場所準備委員会より案内状が来ています。
- ・例会の後、理事会を行います。
- ・3月13日（火）は8クラブ合同例会ですので、3月9日（金）例会はありません。

- (9) 出席報告

- ・本日の出席は28名で出席率80%です。欠席者7名。メイクアップはなしです。
- ・前々回のメイクアップはなしで、修正出席率は82, 80%変更なしです。

- (10) ニコボックスの紹介

- ・炭谷ガバナーより、今日はおじゃまいたします。
- ・寺崎会長より、炭谷ガバナーようこそお出で頂きました。
- ・野澤インターアクト地区委員長より、3月21日より27日まで24名でオーストラリアへ行ってきます。

- (11) 委員会報告 なし。



## (12) 卓話

炭谷亮一ガバナーより「識字率と教養」と題して



皆さん、こんにちは！昨年8月の終わりの貴クラブと西クラブとの合同例会に出席しましたが、次の日にニューヨークへ行く予定で東京行き最終飛行機の間が迫っていましたので、焦って話をしたことを思い出しています。失礼を致しました。私はお酒が出ると断ったことはありません。本当は飲みたくて、飲みたくてしようがなかったのです。次の日にニューヨークにまいりました。

地下鉄で中国の若者3人(男子2人、女子1人)と話を致しました。2人は北京大学卒、1人は上海大学卒でニューヨークのコロンビア大学に留学中ということでした。会話の内容は、「最初の3カ月は英語がなかなか聞き取れなかったが、6ヶ月も経てば慣れ分かってきた。大学院を卒業すると米国で働きたい。10年でグリーンカード(永住権資格)がもらえる。結婚は中国人同志で何となくしたい。」と言っていました。また先日イギリス人と金沢の居酒屋へ行きました。中国人もいまして会話をしました。主な内容は、

- ・なんで民主主義が必要なのか。
- ・チベット介入について、弾圧の実態を知っているのか。
- ・一人っ子なので、国の利権のために戦争はいやだ。

今の若い人達が中核になると、中国に世界に平和が来ると思いました(言葉が分かると話が出る)

次に「識字率と教育」についてお話を致します。

黒船と識字率についてマンスリーに書きましたが、日本は18世紀の中頃、英国、米国、ロシアに開国を迫られました。特に米国は執拗に開国を迫ってきました。アジアの多くは植民地になりました。何故日本は植民地にならなかったか。それは日本の識字率は30%で英国は15%でありましたことが幸いしています。英国の提督が江戸の町を望遠鏡で見ている時、はっさん、熊さん、見たいな人達が野良仕事の帰りに本屋で立ち読みをしていた。こういう識字率の高いところを植民地にすると毎回、反乱が起こると思った。また江戸には各藩に武装集団がいました。統率が取れている武装集団でしたので、もし戦火を交えれば向こうの大砲はすごかったが、日本は負けるが向こうも大きな損害を被ると思った。特に切込みが怖かった。神風は無かったが日本はなかなかしっかりした立派な人種であると欧米は見ていました。明治政府は植民地にされないように、向こうの様式、憲法から何まで猛烈な勢いで取り入れました。日清戦争のあたりから日本も植民地にされることはないだろうということになりました。識字率は非常に大切なことです。日本語の識字率は99.9%ですが、英語の識字率は2610地区では、次期ガバナーの中尾哲雄氏は0.1%か1%以下であると大変厳しい意見です。ロータリーの英語識字率は30%位なので、一般の若い人たちの識字率を上げることが大切です。

次にアメリカの教育についてお話をします。

世界の大学ランキングトップ10の中に、米国の大学は7校、英国は3校で日本はありません。トップ100では、米国の大学は65%で日本では東大と京大の2校、アジア全体で10%位です。21世紀で科学技術の面では、まだまだ米国に追いつけないと思います。米国はエネルギーに関しても、ガス、オイル、オイルサンド、などがあります。以前は中東から輸入していましたが、2年後には石油製品の輸出国になるといわれています。米国には食料も充分にあります。米国は自給自足が出来ます。21世紀はアメリカの世紀であるといわれています。

中国は自給自足が出来ません。エネルギーを世界から求めています。取りにいつている。世界のリーダーは例えば文化の面でもリーダーであるべきです。アメリカにはアカデミー賞などに代表されるエンターテインメントは世界にダントツです。一方中国には古い京劇があるが中国発の文化は無い。21世紀も米国が中心であると思う。

アラブの春と言われているが、エジプト、リビア、チュニジアでもほとんど奴隷状態で奴隷の平和を保ってきた。自由は危険である。多くの血を流し民主化をされてきた。そこには米国や英国の見えざる手がないと出来ない。2020年頃にはサウジアラヒヤでも象徴的王制となり、民主化されると予想されている。2030年頃にはアジアの春、中国にも民主化が押し寄せると言われています。アメリカには自給自足が出来るので怖いものが無い。アメリカは地球全体に民主主義を広めるだろう教育について、

英国のオックスフォード大学の教育を見ると違いがわかる。教育は少人数で講義をする。一人の先生に2~3人の生徒で、普通の学校スタイルの授業はほとんど無い。週に1時間だけ授業、勉強のやり方を教えます。家に帰って1日8時間勉強をします。次の週にレポートを出す。どういうことを分析

して考えたかという授業をしている。サッチャー、ブレアなど英国指導者が40代で首相をしています。英国はエリート教育をしています。

日本では1980年代の終わり、世界一に向かっていました。しかしバブルがはじけました。日本人に未知を切り開く力があれば、今日本は世界一になっていたかも知れない。資源は勿論無い上、決断力も無かった。教育を受けていなかったと思う。21世紀の終わりには新しい教育を受けた日本人が指導者になるべきである。3・11に重大事の時、東日本を助けるべき時瓦礫を誰も引き取ろうとしない。総論賛成、各論反対である。

富山第三分区の富山市、高岡市、南砺市、射水市の4市長の討論会がありました。テーマは「新幹線について」「地方分権・地方主権について何をやりたいか」でした。例えば高岡にカジノを持ってくるなどの発言がありましたが補助金や法律の問題によって自分で決められない市長が目立ちました。市長にスタッフがないのです。

アメリカの上院議員はスタッフを100人も抱えています。法律を作る力を持っています。日本では自主性がありません。エリート教育をしていないので世界に先駆けてナンバーワンになるにはエリート教育が必要です。東南アジア、中国、韓国、シンガポール、インドも詰め込み教育をしています。日本はゆとり教育をしています。私見ですが詰め込み教育は如何なものでしょうか。昔の泥ん子遊びや野原でバッタを追ったり、魚釣りをしたりは必要です。韓国や中国では家庭科、技術科、音楽、体育は無い。勉強ばかりの人は弱い人に対する思いやりに欠け、社会を亡ぼす心配がある。

日本のゆとり教育は学力は落ちるが出来る人は出来るのです。しかし英語教育だけはそこそこに出ることが必要だと思います。

最後に皆さんの浄財によって完成した「ラオスの農業センター」についてお話いたします。年末にラオスの現地に行ってきました。ラオスの教育相、建設会社と良く話し合いを致しました。ラオスでは高校で職業教育をすることになっていますがどこもしていません。そこで敷地の中に高校をつくり世紀のカリキュラムの中に有機農業をして欲しいとお願いしました。2610地区のある人（中村啓次郎様ですが）2～3人と泊まりこんで教えることになりました。5ヘクタールの農地を中心に行いますが軌道に乗るのに2～3年かかると思います。中尾哲雄次期ガバナーも協力を約束しています。心強いです。これも皆さんのお陰です。ありがとうございました。

## あとがき

- ・長かった冬もようやく終わり、梅の花便りが耳にする候になりました。いよいよ躍動の季節です。カラスの勘太郎も忙しく家の繕いに奔走しています。
- ・「利は義の和なり」（易経）と昔から日本人の精神でした。今回の炭谷亮一ガバナーの魚津ロータリー再訪は正に「義を果たす」でした。立派なことです。話の内容も国際的な体験談であり、また日本の将来を若者に期待する姿勢が大変深く感じられ、ロータリーの一つの方向を示唆されたと思います。また外交辞令でしょうか次期中尾ガバナーが魚津市出身で名誉市民であることを知っておいでだったのででしょうか。お話の端はしに後輩を立てる気持ちが何気なく分かりました。
- ・「義」を重んずることについては、隣の韓国は尚のことと聞いています。「釜一ロータリー20周年記念式典」どのようにされるのか興味が尽きません。また日本の文化・信仰・芸能・工芸・金属精錬に深く影響を与えた「百済文化の中心」の扶余訪問が楽しみです。
- ・寺崎会長はじめ約20名の訪韓団になると武隈博信釜山釜一RC友情交換委員長より聞いています。担当の皆さんご苦労さまです。
- ・2610地区インターアクト委員長の野澤良成次年度魚津ロータリー会長が今月21日より27日まで学生を引率してオーストラリア訪問されます。無事初期の目的を達成されることを祈願いたします。
- ・私事で恐縮ですが、先般「佛跡をたずねて」インドへ行ってきました。世界四大宗教の一つであり、日本の中心的宗教である仏教がどのような環境で生まれ、育まれたのか。肌で感じてきました。留守中や帰国後体調を崩し例会欠席したことをお詫びいたします。